

NEW

性能も

ダイナミックな最先端! あのマルケスと共同開発!

[SHOEI] X-Fourteen



■ホワイト



■ブラック



■アセイルTC-10



■アセイルTC-2



■アセイルTC-1



■マルケス4



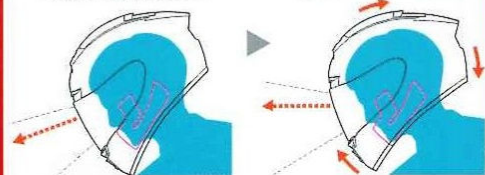
■ブラッドリー-3

早くも
レプリカ
発売予定

●価格：ソリッド=6万4800円、
グラフィック=価格未定 ●規格：JIS、
スネル、MFJ ●サイズ：XS、S、M、L、
XL、XXL
●ショウエイ電話：5588・5180
http://jp.shoei.com
※グラフィックモデルは18年発売予定

■前傾時 通常は視界が狭くなる

■前傾時 X-Fourteenの新開発内装



ヘルメットの傾き角度を変えることで、適切に前方視界が確保できる。

↑SS的な新開発ライボンは、上方が見えにくい。だが、本作ではセンター
パッドの装着位置を変更し、角度を標準から4度アップ可能。深く
バンクさせても広い視界を得られる。アップライトなライボジが標準
設定なので、ネイキッドなどに使用するのも当然アリだ。



◆チンカーテンに加え、ロア
エアスボイラーも装備。巻き
込み風をシャットアウトする
のはもちろん、首まわりの空
力性能を高める。ともに着脱
式だ。内装の表面には、従来か
ら好評を得てきた、吸湿速乾
性に優れたハイグラと、肌触
りのいい羊毛素材をハイブリッド
で採用。イヤープッドの取り
外しもできる。

■マントブラック



↑表面に張り付く空気を剥離する
突起=ポーテックスジェネレーター、
F1などで採用する技術で、ヘルメッ
トでは初。



↑口元の下部インテークの
入風は、チンガード内のエアー
ドクトンを通り、太陽光線から
直接受ける仕組みに、ウレタン
内部の熱気も抑えてくれる。

調光シールドも発売

紫外線
で
色変わり

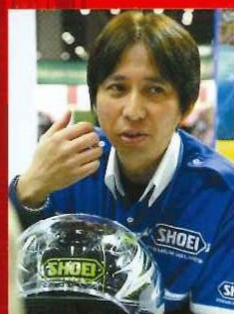
電気を使わずに、紫外線の量に応じて自動的
に色が濃く変化する「フォトクロミック」技
術を応用。暗い時はクリア、太陽光線に当
てると最大でスモーク程度まで暗くなる。
X-14とZ-7に対応。1万6200円。



ワイド

↑風洞実験の結果と実走行から生まれた斬新なリヤスタビライザー。サーキ
ットコースでの疲労軽減に大いに貢献する。フラップは交換可能で、直進方向での空
力を重視したワイドタイプ(右)を標準設定。オプションで、コーナリングでの運動
性を考慮したナロータイプ(左 16200円)も用意する。

スポーティ仕様



SHOEI 海老沢孝氏
「安全性を確保した上で、レース
に特化した性能を追求しました」

夏にはグラフィック系も登場する。
さらに標準で捨てるシールドが使える
ほか、用途に応じて交換可能なス
タビライザーなど、新機軸をこれぞ
もかと盛り込む。まさに野心作だ。

内装も革新的で、前傾度合いに合
わせて傾き角度の調整が可能。セン
ターパッドを6分割し、部分ごとに
厚みを変えることでフィット感を一
層向上できるのも新しい。

結果、空力性能は、前作から浮き
上がりを3%減、押し戻す力(ドラッ
グ)を10%減、ブレ(ヨーイング)
に至っては50%も低減した。

ベンチレーションも一段と強化さ
れたが、白眉は口元のダクト。上下
2つの導入孔を持ち、下側はチンガ
ードの通路から頬のウレタン裏側に直
接風を送り込む。夏場の耐スレー
スで頬パッドに溜まる汗も、大幅に緩
和してくれると期待。

極限状態で真価を発揮する
新デバイス全盛りの野心作

レースでの勝利を至上命題に、進
化を重ねるフラッグシップのXシリー
ズ。10年に発売されたTWELVE
に続き、ついに全面刷新の「14」が
誕生した。大胆なエアロフォルムは、
モトGPなどのレースから得たノウ
ハウを基に誕生。さらに、200km
/h超の風洞実験には、モトGP王
者のマルク・マルケスも参加する
という念の入れようだ。